

組合員の所在確認のため全組合員へ緑十字 1 月号を郵送します。(詳しくは4面へ)

緑十字

ISO9001 認証取得
はるな生活協同組合
高崎市上中居町1461-1
電話 027 (388) 0011
(毎月10日発行) 1部10円
発行人 鈴木 隆

1 月号

賀正



2022年 元旦

年頭の挨拶

理事長 鈴木 隆



あけましておめでとうございます。昨年、変化の多い年でした。新型コロナウイルスの感染は秋以降落ち着いてきていますが、海外ではまだまだ患者が増え続けているので油断はできません。どこの国も予防や検査、医療体制などの対策に試行錯誤が続いているようです。

高崎中央病院でも入院患者と職員で感染がありました。いずれも他への拡大はなく診療への影響も一時的でした。ワクチンを2回打っていても感染があるので、油断ができません。

秋に衆議院議員の選挙があり自公の政権が続きます。私たちの日頃の要求に近い公約を掲げていた野党4党は議席を伸ばすことはできませんでしたが、政策を掲げて選挙で訴え続けることで少しずつ世の中が変化していくのは間違いないと思います。

2020年に菅総理が6人の学術会議委員の任命を拒否した事件がありました。拒否された一人、東京大学教授の宇野重規氏が最近雑誌に書いた文章を紹介します。

『政治学者だから、仮に時の政権と異なる見解であっても、自らの学問的信念に基づいて発言すべきことは発言すべきだと思う』『『反政府的と言うのは政府の存在を否定する立場だ。むしろ政治学者としてしっかりと政府が必要だと承知している』『質の高い統治とは、なぜそのような政策を採用したのか国民に理解できるように説明すること。それが間違った場合に責任をとること、国民の多様な声にしっかりと応答すること。これらが民主政治のリーダーに求められる』『『政権党といえども、政府とおなじではない、一時的に政権を担当しているとしてもあくまで暫定的だ』『近代の民主政治の本質はさちんと「線を引く」こと、「権力の分立」「政教分離」「政治と学術の分離」……などなど、たいへん納得できる言葉でした。このような立派な学者の意見を大事にできる、しっかりした政府になってもらいたいですね。

今年もいろいろな事が起こりそうですが、組合員のみならず、地域の方々とともに良い年にしていきたいと思っています。

はるな生活協同組合



組合員の皆様へ。住所、氏名が変わったとき、組合員がお亡くなりになったとき、ご連絡ください。組合員活動部 ☎ 027 (323) 2762

